

2022 年 7 月



親切会

関東支部便り (No.19)

連絡先: 〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-9-6

ゆいまーるひたち 4 階

電 話: 070-3603-2172

メール: shinsetsukai-honbu@hdq.hitachi.co.jp

第 19 回支部幹事会を開催

2 月 24 日に始まったロシアのウクライナ侵攻によってウクライナの一般市民に大勢の犠牲者と難民・避難民が出ているだけでなく、世界有数の生産量を誇るウクライナの小麦に依存するアフリカや中東は深刻な食糧危機に見舞われております。一方、世界の新型コロナウイルスは減少傾向を見せしていますが、日常生活を取り戻すには至っていません。その危機に対応すべく、世界のボランティアたちの活動する姿を日々報道で見るにつけ、感動を覚えます。その一角を担うと考えております私達親切会活動も今一度活動内容の検討を加えるべき時期かと思われまます。

第 19 回支部幹事会は 6 月 15 日 (水) 15 時から開催されました。まず、鈴木支部長から「新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向を示しているのは有り難い。懸案であった親切会のホームページのリニューアルも今月末オープン予定となった。

新しい取り組みを始め引き続き協力願いたい」と挨拶がありました。次に「21 年度の支部決算・監査の報告と」22 年度予算の説明がありました。

続いて、今年度の具体的な活動内容（寄附先訪問・善行者表彰・支部広報等）について話し合いを行いました。また、前回提案があり 3 月末にテストケースとして実施した連合東京「子ども、若者支援プラットフォーム (HOPE)」と連携して、災害備蓄品を子ども食堂などに配布する活動の経過説明とともに、これを踏まえ、今後日立グループの法人会員各社殿に、担当を決めて協力依頼をすることとしました。

懸案だった当会活動 PR のためのホームページの改訂作業はようやく完成の目途がたち、6 月末にリニューアルオープンすることになりました。

裏面にその紹介を載せています。ご期待下さい。その他、法人化 4 年目に入りますがこの支部活動をしっかり継続、維持していくために後継についての意見交換も行われました。

次回開催は、9 月 21 日 (水) を予定しています。

歳末助け合い募金 (755,209 円)

ご協力、有難うございました

ご承知の通りコロナ禍で社員食堂の閉鎖等により年末募金などが大幅に減少しています。是非、会員のご紹介をお願いします。

個人会員 年会費 2,000 円

法人会員 年会費 36,000 円

事務局 (上記便りの発行元) にご連絡下さい。申込書 (会費払込用紙) を送らせて頂きます。個別のご寄付 (懇親会の残金など) もお願いします。

コロナ渦を乗り越え、前へ

新型コロナが発生して 2 年半、日常の回復へようやく出口らしいものが見え始めてきたように思えます。コロナ渦、人との触れ合いが不可欠な地域活動の現場の苦労、そして最近の様子を知りたいと思い、先日、関東支部がサポートしている団体の一つである「カムオン・シェシェ」を訪問し、実際に活動を行っているメンバーの方々からお話を伺いました。

「カムオン・シェシェ」は、日本で自ら子育てを経験し日本語も流ちょうな外国人ママが、その経験と語学力を生かし、今現在子育てに困っている地域の外国人に通訳・翻訳サービスを提供し支援するというユニークな活動を行っている団体です。(在横浜市瀬谷区)

皆さんの話によると、コロナ禍で最も苦労したことは、やはり一番大事な交流の機会が思うように持てなかったこと。交流イベント自体の開催制限もありましたが、対象者が感染を恐れ、敢えて接触を避ける傾向もあったようです。特に母国で厳格な封じ込めを行っている中国出身の方は、母国にいるご両親からの「外へ出るな、人と会わない」という強いプレッシャーもあったそうです。

次に、日本語の壁。行政などからの通知が理解出来ず、どうしてもワクチンを受けられるのかといった問い合わせも少なからずあったようです。また、学童がいる家庭では、授業のやり方や登校に関する学校の方針が良く分からず、混乱したケースも多々あったとのことでした。

活動できるメンバーはまだまだ限られている為、全ての支援要請に応えきれないのが現在の悩みの一つです。それでも現在支援を受けている人達が、やがては支援する側に回ってくれることを夢見て、日々の支援活動に励んでいるとのことでした。今年度に入って、ようやく月 1 回の交流イベントを企画・実施できるようになりました。更なる活動の充実に向けて、親切会関東支部が少しでもお役に立てればと思います。

尚、「カムオン・シェシェ」は防災の分野でも地域貢献しており、横浜市瀬谷区が発行した外国人向けの防災冊子「日本での災害予防」の中国語・ベトナム語の翻訳を担当しています。

(伊藤小一郎記)



親切会ホームページリニューアル！

2019年4月の「一般社団法人」への移行時よりの課題でありました当会のホームページ、2020年11月にリニューアルに着手し、1年半を要しましたがこの6月末日に、リニューアルオープンすることになりました。ご期待下さい。

リニューアルのポイントは

1. TOP画面は写真や画像など視覚的にしました。
2. 親切会の活動等をTOP画面からリンクにより入り、理解し易くしました。
3. 各支部の活動状況を支部便りとして配布していましたが、HPの「支部だより」のコーナーを定期的に更新するようにしましたので、関東支部の活動状況とともに各支部の活動状況にもご注目頂ければ幸いです。
4. 画面を縦長に大きくし、スマホでも見えるようにしました。
5. 会報「親切たより」や支部便りなどのバックナンバー対応を可能にしました。

一井草本部長のコメント

各支部初め、いろいろな関係者からご意見、ご助言などを頂き、よりよくなったと自負しております。さらに充実すべくご覧頂いたら、メール等でご意見を頂けると幸いです。

寄付先からのお礼状

日立横浜理科クラブは発足してから8年が経過しました。

この間、関係の皆様には多大なご支援・ご鞭撻を頂き有難うございます。

お蔭様で予想を大きく上回るイベント数・参加人数で、皆様の期待の大きさに身が引き締まる思いです。

また親切会様からは毎年多額の活動資金をご支援頂き、たくさん子どもたちに理科のふしぎさや工作の楽しさを体験してもらうことができました。親切会様のご支援に心から感謝申し上げます。今年度はまだ新型コロナの影響もありますが、例年強いご要望がある学校行事に加え You Tube 動画を活用した自宅でのリモート工作にも取り組んでいます。

更に小・中学校における理科授業のご支援やご要望の多いプログラミング教育も強化して、子供たちの理科に対する関心を少しでも高めるお手伝いをさせて頂きたいと考えています。

2020年度の活動報告と2021年度の活動案件リストを同封致しますので高読頂けると幸いです。今年度も従前の年度同様、活動資金ご寄付のご高配方宜しくお願い申し上げます。

2021年11月24日
日立横浜理科クラブ
理事長 草場 彰



初冬の候、貴親切会の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

本年度も、当理科クラブへのご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

貴親切会を始めといたしまして多数の皆様のご支援・ご協力を賜る中当クラブもお蔭様で来年4月で11年目を迎えます。

しかしながら、今年もコロナ禍の活動は6月、7月の2ヶ月と余儀なくされようやく12月より参加定員を半減して再開して参ります。

この休校中に新型コロナ感染対応（3密対応）としての環境設備を図り、ウイルス防御（マスク、手袋、消毒液、フェイスガード等）を徹底して12月再開します。

このように再開出来たのも、貴親切会を始めとして、多数の皆様の暖かいご支援、ご協力の賜物でありまして、厚く御礼を申し上げます。

つきましては、領収書と活動記録No.9を同封させていただきますのでお納めください。

まだまだ「コロナ」は変異株「オミクロン」の感染もはじまる兆しを見せており、安心はできませんが皆様方にも十分ご注意ください、新しい年をお迎えください。

本年も大変お世話になりました。新年度もよろしくお願い申し上げます。

2021年12月13日
日立栃木理科クラブ
理事長 小川 省三

このたびは、「いのちの森づくり友の会」に継続してご加入頂き、誠にありがとうございます。私たち進和学園は、知的ハンディを持つ方々の自立生活を目指し、生活支援並びに就労支援を行っております。「ご本人中心」「一人には一人のひかり」を理念に、地域・社会の皆さまに支えられ、更なる飛躍に向け挑戦を続けて参ります。

また、私たちの「いのちの森づくり」プロジェクトは、「福祉」と「環境」、「労働」更に

は「教育」との連携を目指して、創意工夫を凝らしながら前進して参りたいと考えております。

利用者ご本人の皆さんが心を込めて育てたポット苗が、東日本大震災の復興を願う「いのちを守る森の防潮堤」や未来を担う子供たちのための「学校の森づくり」等、環境・防災にも役立つように頑張っ参りたいと思います。

「いのちの森づくり友の会」の尊い会費は、未来へ緑を残すために有効に使わせて頂きます。今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

2021年（令和3年）12月吉日
社会福祉法人 進和学園
いのちの森づくり友の会 事務局一同

